

総務文教常任委員会(3/6)、産業厚生常任委員会(3/7)を開催し、町から平成30年度

## 札沼線代替バス JR 北海道からの支援

総務  
文教

### JR 北海道からの支援内容は

JR 札沼線北海道医療大学以北の廃止問題に関する経過の報告の中で、JR 北海道から当別町への今後の支援内容についての覚書(※右参照)を締結した旨の説明があり、それに対する質疑が行われました。

### JR 北海道からの支援(覚書)

①当別町と月形町への支援

合計 7 億 8,400 万円

⇒ 20 年間分の運行費用と初期投資費用の合計

②当別町への支援

3,000 万円

⇒ 新規路線バスの運行ルートへの町道整備

問

7 億 8,400 万円(覚書①参照)の内訳は、また、バスの運行に関する当別町の負担はないのか。

答

初期投資費用は、バス購入(20 年の間にバ

スを 1 回更新する費用も含む)、待合所、停留所、車庫の整備等で、1 億 8,220 万円。20 年間の運行経費は 6 億 219 万 2,000 円である。当別町の負担は、20 年間はないものと予定している。



同等サイズのバスを導入予定



町道北八号(位置図は p.12 参照)

総務  
文教

### 運行ルートの町道整備はどこ

問

町道整備に対する 3,000 万円(覚書②参照)は、どこの町道か。

答

平成 31 年度当初予算として、金沢の町道北八号を仮定のルートとして

定め、改修工事を計上している。今後の検討によっては、工事箇所が変更になる可能性はあるが、今現在、可能性のある部分についての予算を計上していくという考えである。

## 一体型義務教育学校のクラス配置

総務  
文教

### 特別支援学級を 2 階に

問

プロポーザルの資料では、1 階は 1 年生と特別支援学級であったが、今回の報告では 1 年生のみ 1 階である。特別支援学級を 2 階にした理由は、

答

特別支援学級は、その学級の中だけで活動しているわけではなく、通常の学級に出向き、共に学ぶという活動が主に行われている。学習以外での生活面での交流も考慮し、2 階への配置とした。

総務  
文教

### 1 年生の教室を 1 階に

問

1 年生だけポツンという印象だがその配慮は。

答

図面では、そのように感じるかもしれないが、

1 年生は外に出る活動が多く、また、災害時に一番早く外に出られることから 1 年生を 1 階に配置した。

【その他の主な質問項目】

当別町役場の中途退職者人数、一体型義務教育学校地質調査業務委託内容 など

補正予算や条例制定等の提案説明があり、それに対する質疑が行われました。

## 当別町デイサービスセンター利用者減

次のページは

議案審議の結果 定例会では討論と採決が行われました。

産業  
厚生

### 利用者減少の要因は

介護サービス事業特別会計補正予算では、当別町が設置するデイサービスセンター（運営は当別町社会福祉協議会へ委託）の利用者が減少し収入が減るため基金（貯金）からの繰り入れをする旨の説明があり、それに対する質疑がありました。



当別町デイサービスセンター（ゆとろ内）

問

総合事業のスタート時に、懸念されていたことはサービスの抑制である。介護サービスを抑制する傾向に働いてきていると考えるが、どのように把握しているか。

答

社会福祉協議会からは、今まで介護予防給付を利用していた方が総合事業に移行して利用が少なくなってきたという影響は見られないという話は聞いている。

問

デイサービスの利用が減っている、若しくは、居宅の介護サービスの利用がなかなか伸びていない要因というのは、現時点で整理されているか。

答

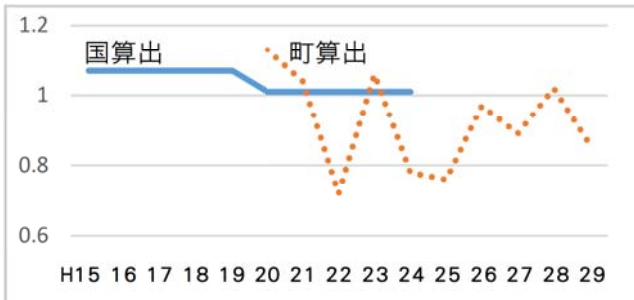
どこの事業所を選択するかは、ご本人であるので、当別町デイサービスセンターを利用してもらえるようなPRの方法を検討していかなければならないと考えている。

## その他

産業  
厚生

### 合計特殊出生率

当別町の合計特殊出生率の推移について、国が5年ごとに公表する数値と当別町が試算した年別数値の報告があり、総合戦略などの施策目標設定の指標について質疑がありました。



合計特殊出生率

問

合計特殊出生率は国では5年毎の数値、町での試算数値は変動が大きく政策の目標値として用いるのは難しい。今後、出生率以外のより適切な指標の検討は。

答

合計特殊出生率は、長期的な推移をみるために重要なものと考えているが、施策の展開にあたっては、より適切な指標を検討していかなければならないと考えている。

産業  
厚生

### 合併処理浄化槽設置内訳

問

合併処理浄化槽を今年度6台設置したとのことだが、元々当別町に住んでいた方が。若しくは、転入されて来た方が。

答

6台とも当別町に元々住んでいた方である。

産業  
厚生

### 合併処理浄化槽の周知方法

問

新たに当別町へ転入されて来た方からの問い合わせはあったのか。また、町内の建設業者にこの制度の周知をしているのか。

答

転入者の方への周知は、広報とホームページで行っている。また、町内業者への周知は、4月の段階で各建設事業者にご案内している。

【その他の主な質問項目】

当別町役場の中途退職者人数、一体型義務教育学校地質調査業務委託内容 など

# 平成31年第1回定例会

日程：3月5日～3月20日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果  
掲載ページ

傍聴人数 36人 議会中継視聴回数 261回 (5/22 現在)

## 【専決処分】

平成30年度一般会計補正予算(第6号)  
寄附金の増加等により6億3,022万円を増額し、総額を103億4,261万円とした専決処分の承認を求めるもの

◎ -

北海道市町村総合事務組合規約の制定及び廃止の協議  
北海道市町村総合事務組合規約の制定及び廃止の協議について専決処分をしたのでその承認を求めるもの

◎ -

## 【平成30年度補正予算】

平成30年度一般会計補正予算(第7号)  
1億8,279万円を増額し、総額を105億2,541万円とするもの

◎ p.21

平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)  
6,255万円を増額し、総額を21億5,156万円とするもの

◎ -

平成30年度介護保険特別会計補正予算(第3号)  
393万円を増額し、総額を15億7,404万円とするもの

◎ -

平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)  
19万円を減額し、総額を6,819万円とするもの

◎ p.21

平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)  
5,785万円を減額し、総額を8億3,556万円とするもの

◎ -

平成30年度水道事業会計補正予算(第2号)  
収益的収入を9万円増額し、総額を6億9,111万円等とするもの

◎ -

## 【条例制定】

当別町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正  
学校教育法の一部改正に伴う本条例の一部改正

◎ -

当別町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正  
土地改良法の一部改正に伴う本条例の一部改正

◎ -

当別町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正  
学校教育法の一部を改正する法律等の施行に伴う本条例の一部改正

◎ -

当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う本条例の一部改正

◎ -

## 【請願・陳情】

《平成31年第1回定例会(3月)総務文教常任委員会へ付託》  
国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書  
[提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体  
[紹介議員]当別町議会 議員 鈴木 岩夫

不採択 -

《平成31年第1回定例会(3月)産業厚生常任委員会へ付託》  
町独自で国保税の1万円引き下げと国保の抜本的改革を国に求める請願書  
[提出者]公益社団法人北海道勤労者医療協会 当別社員支部 支部長 今野 一三六 他4団体  
[紹介議員]当別町議会 議員 鈴木 岩夫

不採択 -

《平成31年第1回定例会(3月)産業厚生常任委員会へ付託》  
日米貿易協定交渉の中止を求める陳情書  
[提出者]当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体

不採択 -

《平成29年第5回定例会(12月)公共施設特別委員会へ付託》  
地方創成 都市再開発事業による「コンパクトシティまづくり」  
[提出者]荒田 謙

趣旨採択 -

## 討論

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



消費税増税は中止すべき

当別町の地域と経済に多大な影響を及ぼす消費税増税は中止すべき。

不採択すべき 山崎議員



社会保障費の財源となる

現役世代の減少と高齢化により社会保障費が増大。消費税引き上げはその財源となる。

採択すべき 澁谷議員



金持ち優遇の税制

所得税の最高税率は、消費税導入時は75%、現在は45%。金持ち優遇の税制である。

不採択すべき 五十嵐議員



軽減税率で配慮

社会保障の安定財源確保のため軽減税率で所得の少ない方に配慮しつつも上げざるを得ない。

採択すべき 島田議員



10月からの導入に危惧する

今年10月の消費税10%導入は、今の日本経済の状況からいって、非常に危惧する。

### 【賛否が分かれた採決の公表】

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

## 討論

町独自で国保税の1万円引き下げと国保の抜本的改革を国に求める請願書

採択すべき 鈴木議員



公費1兆円の投入を

2016年に全国知事会は国保基盤強化と負担の公平のため、公費1兆円の投入を求めている。

不採択すべき 高谷議員



税の公平性から考えて妥当か

町民の3/4の人の血税を使って、国保税1万円引き下げは、税の公平性から考えて妥当か。

### 【賛否が分かれた採決の公表】

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

**討論** 日米貿易協定交渉の中止を求める陳情書

採択すべき **鈴木議員**



**農業に多大な影響を及ぼす**  
当別の基幹産業である農業に多大な影響を及ぼすのは火を見るより明らかだ。

不採択すべき **佐藤議員**



**国際交渉に背を向けない**  
国際交渉に背を向けることなく交渉に向かい、国民の幸せを守る姿勢を忘れてはならない。

**【賛否が分かれた採決の公表】**

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

**トピックス**

《予算審査特別委員会報告に対する質疑》  
**国保税負担増の少数意見反映は**

**Q** 少数意見ではあったが、なぜ町民負担を強いる国保税の増大分に対する意見が出ていないのか。

**A** 慎重に審議をして、どのように報告するかということも十分協議した結果、原案のとおり可決すべきものと決定したという結果になった。

**【賛否が分かれた採決の公表】**

佐藤	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	石川	岡野	市川	高谷	島田
○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「-」は退席。

<b>【平成 31 年度当初予算関係】</b>		
※下記の 17 議案は平成 31 年度各会計予算審査特別委員会へ付託		
平成 31 年度一般会計予算 総額を 103 億 4,021 万円とするもの		p.9 ～ p.14
当別町立地適正化計画策定委員会条例制定 本委員会を設置するための条例制定		p.9
当別町空家等の適正管理に関する条例の一部改正 当別町空家等対策協議会を設置するための条例の一部改正		-
当別町森づくり基金条例制定 森づくりの推進を目的として基金を設置するための条例制定		-
当別町社会体育施設等に係る指定管理者の指定 本施設等の指定管理者（ふれスポ with AMB）の指定をするもの		-
札幌広域圏組合規約の変更の協議 本組合規約の変更の協議をするもの		-
札幌広域圏組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議 本組合の解散及び解散に伴う財産処分の協議をするもの		-
札幌市及び当別町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議 連携中枢都市圏の形成に係る連携協約を締結することについての協議をするもの		-
平成 31 年度国民健康保険特別会計予算 総額を 20 億 6,989 万円とするもの		p.13
当別町国民健康保険税条例の一部改正 保険税率の改定に伴う本条例の一部改正		p.13
平成 31 年度後期高齢者医療特別会計予算 総額を 2 億 3,553 万円とするもの		-
平成 31 年度介護保険特別会計予算 総額を 15 億 6,548 万円とするもの		-
平成 31 年度介護サービス事業特別会計予算 総額を 6,861 万円とするもの		-
平成 31 年度下水道事業特別会計予算 総額を 9 億 9 万円とするもの		p.14
当別町下水道条例の一部改正 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律等の施行に伴う本条例の一部改正		p.14
平成 31 年度水道事業会計予算 収益的収入総額を 6 億 5,817 万円等とするもの		p.14
当別町水道事業給水条例の一部改正 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律等の施行に伴う本条例の一部改正		p.14
平成 31 年度各会計予算審査特別委員会報告 付託された全ての案件を「原案のとおり可決すべきものと決定した。」と報告	◎	p.14

※各会計予算審査特別委員会で審査し、本会議で委員会から報告

**議員表彰** **稲村議員 議員在職 15 年表彰**  
3/5 伝達式（議場）

稲村議員は、長きにわたる地方自治の発展に寄与された功績が認められ、全国長村議会議長会より表彰されました。



後藤議長（右）から伝達を受ける稲村議員（左）

**議員表彰** **後藤議長・高谷議員 記念表彰**  
3/5 伝達式（議場）

後藤議長と高谷議員は、北海道町村議会議長会役員を務めるなど同会発展に寄与された功績が認められ同会創立 70 周年記念表彰を受けられました。



後藤議長（右）から伝達を受ける高谷議員（左）

## 議会のうごき（平成31年2月～令和元年5月）

- |  |  |
|--|--|
| 2月15日 議会広報特別委員会                                | 3月15日 予算審査特別委員会 議会広報特別委員会                                  |
| 2月18日 産業厚生常任委員会町内所管事務調査                        | 3月18日 予算審査特別委員会 産業厚生常任委員会<br>公共施設に関するあり方検討特別委員会            |
| 2月19日 会派代表者会議                                  | 3月20日 議会運営委員会 議員協議会<br>予算審査特別委員会 第1回定例会<br>議員協議会 議会広報特別委員会 |
| 2月21日 議会広報特別委員会                                | 4月24日 議会広報特別委員会  |
| 2月26日 議会運営委員会                                  | 5月9日 議員懇談会   |
| 3月5日 議会運営委員会 議員協議会<br>第1回定例会                   | 5月10日 会派代表者会議 議員懇談会<br>第1回臨時会 議会運営委員会<br>議員協議会 議会広報特別委員会   |
| 3月6日 総務文教常任委員会                                 | 5月17日 議会広報特別委員会  |
| 3月7日 産業厚生常任委員会                                 | 5月22日 議会広報特別委員会  |
| 3月8日 第1回定例会<br>公共施設に関するあり方検討特別委員会<br>議会広報特別委員会 | 5月24日 会派代表者会議  |
| 3月11日 総務文教常任委員会                                | 5月31日 議会運営委員会  |
| 3月12日 産業厚生常任委員会                                |  |
| 3月13日 第1回定例会                                   |  |
| 3月14日 第1回定例会 総務文教常任委員会                         |  |

### 議会を傍聴してみませんか

令和元年6月定例会のご案内

- 6月12日(水)13時 議場 本会議(報告等)  
 6月13日(木)13時 議場 総務文教常任委員会  
 6月14日(金)13時 議場 産業厚生常任委員会  
 6月17日(月)10時 議場 本会議(一般質問)  
 6月18日(火)10時 議場 本会議(一般質問)  
 6月19日(水)10時 議場 本会議(議案審議)  
 ※日程が変更になる場合もありますので、ホームページをご確認下さい。

### どこからでも議会が見られる

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



### ご意見ご感想をお寄せください

#### 議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9  
 TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474  
 E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

### 議会広報特別委員会

委員長	秋場	信一
副委員長	鈴木	岩夫
委員	西村	良伸
委員	佐々木	常子
委員	櫻井	紀栄

### 編集後記

この度の改選で3名の新メンバーが入れ替わり、引き続き議会だよりの編集が始まりました。

これまでの2年間、誌面作りにかけた委員会時間は約79時間に及び、リニューアルの難しさを実感しました。

令和の最初の発行からも新委員会が力を結集して更なる改善と工夫をこらして議会をより分かり易く、町民(読者)の方々へお伝えしていければと考えています。

今後も定例議会ごと(年4回)に発行予定ですので、2年間よろしく願いいたします。

議会広報特別委員会委員一同



議会広報特別委員会